

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

| | |
|----------------------|--|
| 当事者A | 年齢[34]歳、勤続年数[8]年、現場経験年数[5]年、階級[消防士長]、同様の活動 [初めて]、任務 [隊員] |
| 当事者B | 年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動 []、任務 [] |
| 当事者C | 年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動 []、任務 [] |
| その他 (当事者が4人以上の場合) | |

11. 事例発生の経過。



| | 誰(何)が | なにをした | その他・備考など |
|-------|-------|------------------------|-----------|
| 経過 1 | 消防隊 | 現場到着 | |
| 経過 2 | 消防隊 | 三連梯子を使用して、当該建物の屋根に進入 | 防火造 1/0 階 |
| 経過 3 | 消防隊 | 屋根にホース延長し、放水開始 | |
| 経過 4 | 当事者A | 三連梯子を使用して、当該建物の屋根に進入 | |
| 経過 5 | 当事者A | 余裕ホースを取るため、放水中のホースを引き | |
| 経過 6 | 当事者A | 上げようとホースを持ち、右足を一步踏み出して | |
| 経過 7 | 当事者A | プラスチック製波板で、継ぎあてしている部分を | |
| 経過 8 | 当事者A | 踏み、右足大腿部まで、屋根を踏み抜いた。 | |
| 経過 9 | | | |
| 経過 10 | | | |

【その事例発生時の状況について】

事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思いませんか？

ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思いませんか？

体力、反射神経等身体能力が優れていた。たまたま、負傷事故にならなかった。その他：当事者Aの体重が軽かった。

心理・体調について

a. あせりを感じていた

| | |
|---------------------------------------|-----|
| ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。 | いいえ |
| ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。 | いいえ |
| ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。 | いいえ |

b. 注意力が欠如していた

| | |
|---------------------------------|-----|
| ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。 | はい |
| ・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 | いいえ |
| ・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。 | いいえ |

c . 経験・知識が不足していた。

| | |
|----------------------------|-----|
| ・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。 | いいえ |
| ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | いいえ |
| ・活動に対する経験が不足していた。 | はい |

d . 心身の不調があった

| | |
|-----------|-----|
| ・体調が悪かった。 | いいえ |
| ・悩み事があった。 | いいえ |

装備・資機材について

e . 資機材の故障・不具合があった。

| | |
|---------------------|-----|
| ・装備・資機材自体に問題があった。 | いいえ |
| ・装備・資機材の使用方法が誤っていた。 | いいえ |
| ・装備・資機材の対処能力を超えていた。 | いいえ |
| ・必要とする装備・資機材がなかった。 | いいえ |

活動環境について

f . 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

| | |
|---------------------------------|-----|
| ・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |
| ・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |

g . 行動しにくい環境だった。

| | |
|------------------|-----|
| ・狭隘な場所であった。 | いいえ |
| ・暑かった（寒かった）。 | いいえ |
| ・野次馬が多かった。 | いいえ |
| ・現場周辺の地理に不案内だった。 | いいえ |

h . 足場が悪かった。

| | |
|------------------|-----|
| ・足元が躓いたり滑りやすかった。 | いいえ |
| ・足元の強度が不足していた。 | はい |

指揮・管理について

i . 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

| | |
|-------------------------------------|-----|
| ・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。） | いいえ |
| ・指示内容に誤り・偏りがあった。 | いいえ |
| ・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。） | いいえ |

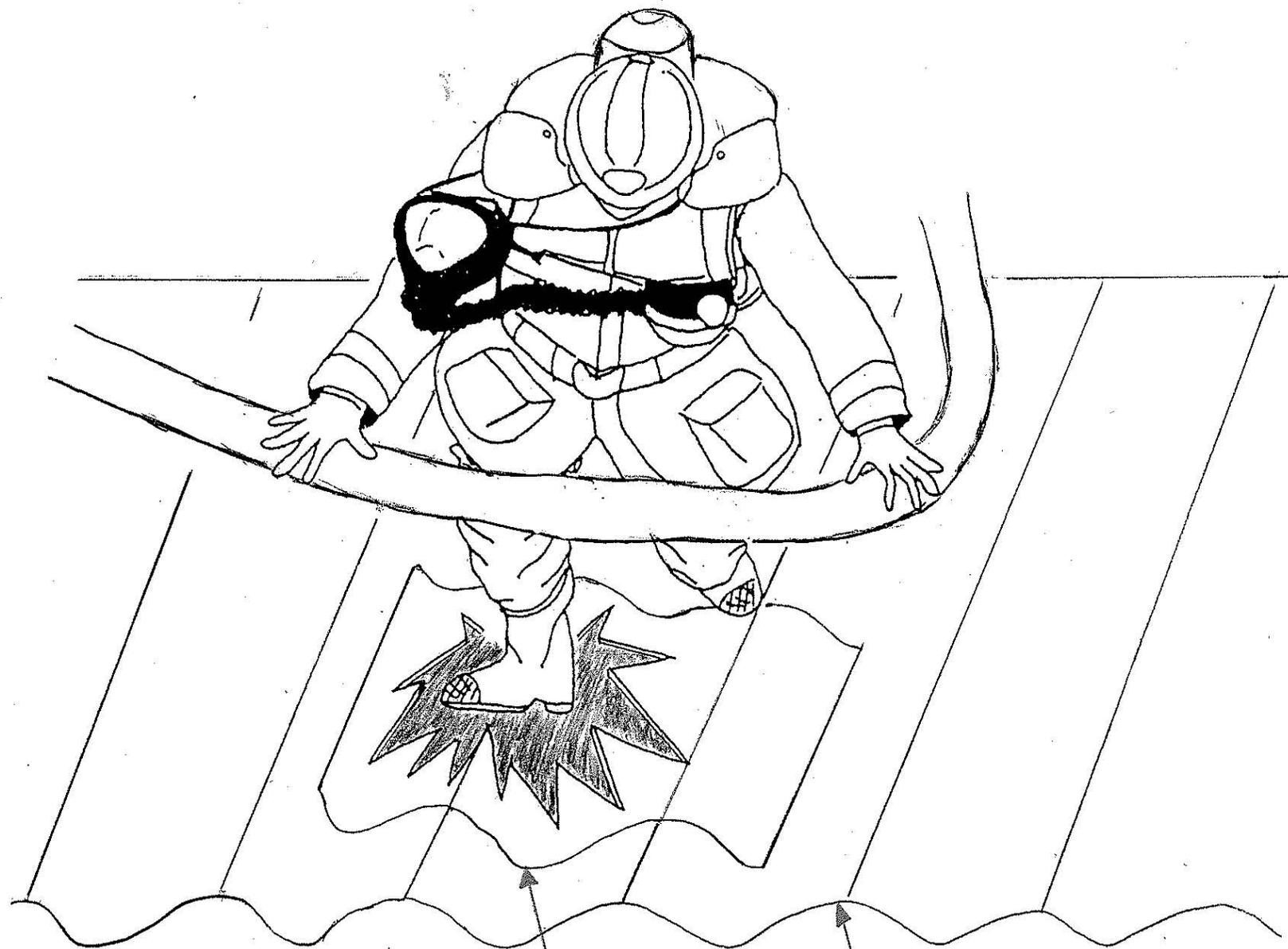
k . 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

| | |
|----------------|-----|
| ・隊員の連携が不十分だった。 | いいえ |
| ・隊員が不足していた。 | いいえ |

その他

l . その他の理由があった。

| |
|-----|
| いいえ |
|-----|



プラスチック製波板(継ぎあてされたもの)

鉄製波板

・発生日時 :平成19年2月6日 午前10時頃

| 経過 | 現場の状況 | 隊員A | その他 | 備考 |
|----|-------------------------------------|---|-----------------------|---|
| | | 隊員／消防士長 ・年齢 34 歳 ・勤続 8 年 ・現場 5 年 ・同様の活動:初めて | 消防隊 | |
| | 倉庫火災 | | 現場到着。 | |
| | | | 三連梯子を使用して、当該建物の屋根に進入。 | 防火造1/0階 |
| | | | 屋根にホース延長し、放水開始。 | |
| | 倉庫の鉄製波板屋根で、補修のため一部分がプラスチック波板になっていた。 | 三連梯子を使用して、当該建物の屋根に進入。 | | |
| | | 余裕ホースを取るため、放水中のホースを引き上げようとホースを持った。 | | |
| | | 屋根の強度を確認しなかった。 | | 注意が筒先の方にあった。 |
| | | 右足を一步踏み出した。 | | 空気呼吸器の面体を首から上げた状態でホースを引っ張っており、足元の確認が良くできていなかった。 |
| | 屋根破壊 | プラスチック製波板で、継ぎあてしている部分を踏んだ。 | | |
| | | 右足大腿部まで、屋根を踏み抜いた。 | | |

◎ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

- 直接的な原因:状況判断に問題があった。
- ・体力、反射神経等身体能力が優れていた。
- ・たまたま、負傷事故にならなかった。
- ・当事者Aの体重が軽かった。

◎ヒヤリハットが起きた背後要因

- (心理・体調について)
- ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。
- ・活動に対する経験が不足していた。
- (活動環境について)
- ・足元の強度が不足していた。